



おにぎり通信

2019年12月28日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

今年最後の訪問をさせていただきました。一年間、ありがとうございました。

来年はオリンピック・パラリンピックの年ですが、みなさんの生活にどうかか

わってくるのか、注視していきたいと思えます。

新年は以下の日から活動を始めます。

1月4日(土) 訪問

1月6日(月) 福祉行動



〈福祉行動報告〉 12月16日(月)

どなたも参加されませんでした。

次回の福祉行動：1月6日(月)

東京駅丸の内南口地下に朝8時30分までに集合してください。

蒸気機関車の車輪が展示してある前に「おにぎり通信」を持った者が待機し

ていますので、声をおかけください。病院に行きたい方や、体を休めたい方と

一緒に「福祉事務所」まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則

として毎週月曜日です。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望

をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階

なかむらてつ
中村哲さんをしのぶ

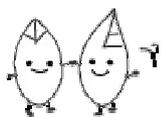
アフガニスタンで長年支援活動にたずさわってきた中村哲医師（73歳）が12月4日、アフガニスタン・ジャララバードで、何者かに銃撃され死亡しました。

中村氏は、1984年にパキスタンで医療活動に参加し、1989年からはアフガニスタンで活動を開始。2000年からは、用水路建設などの灌漑事業を通じた復興支援を行い、これまで貧困や紛争に苦しむ多くの人びとによりそい、命を助けてきました。2010年には、全長25.5キロメートルの用水路を完成させ、65万人分の食糧確保が可能となり、医療のみならず用水路により砂漠を農地とする開拓で多くのアフガニスタン人を助けました。

アフガニスタンでは新聞の一面で中村さんの死が伝えられ、複数の追悼集会が開かれました。首都カブールでは100人以上が集まり、横断幕に「真の英雄」と掲げながらろうそくをともして中村さんをしのびました。会に参加した人は、「中村医師は人道の象徴だった」「彼は子どもたちのために、そしてアフガニスタンの人々に奉仕し持続可能な生活を付与するために長年ここにいた」と語り、数十年にわたり病気に苦しむ人々を世話するとともに同国に広がる不毛地帯を生まれ変わらせた中村さんをしのびました。インターネット上には中村さんの死を悼む投稿であふれ、中村さんをしのぶ歌を書き込んだ人もいました。現地では、近年ISなどの反政府ゲリラのテロが増えています。

私が9月に講演会でお話をうかがったときには、「危なくないのですか？」の質問に「神様が守ってくれるから大丈夫」と答えていました。今から思うと、はじめから命を捨てる覚悟でこの事業にたずさわっていたのだと感じました。ひとりの日本人の献身的活動が、アフガニスタン国民の心をとらえ、戦火で疲弊した国を平和的に立て直そうと国民の心に火をともしています。

みなさん、良いお年をお迎えください。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。一人でも多くの方に召し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先 080-7967-8672

連絡可能時間 毎週土曜日 午後3時～午後6時

千代田区翹町6-5-1 聖イグナチオ教会